



2022年11月10日

各 位

会 社 名 徳倉建設株式会社
 代表者名 代表取締役社長 徳倉 正晴
 (コード：1892、名証メイン市場)
 問合せ先 取締役経営管理本部長 立花 眞昭
 (TEL. 052-961-3271)

2023年3月期第2四半期累計期間業績予想値と実績値との差異
 および通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期累計期間業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結

単位：百万円

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	30,000	720	700	460	220 円 82 銭
実 績 値 (B)	25,286	△146	△80	△153	△73 円 65 銭
増 減 額 (B - A)	△4,713	△866	△780	△613	
増 減 率 (%)	△15.7	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期 第2四半期)	33,064	801	806	494	237 円 53 銭

(2) 個別

単位：百万円

	売 上 高	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	17,000	500	360	172 円 81 銭
実 績 値 (B)	13,412	145	155	74 円 69 銭
増 減 額 (B - A)	△3,587	△354	△204	
増 減 率 (%)	△21.1	△70.9	△56.7	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期 第2四半期)	20,902	549	404	194 円 54 銭

2. 2023年3月期通期業績予想の修正（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 連結

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	64,000	1,950	1,900	1,250	600円05銭
今回修正予想（B）	60,000	900	1,000	700	335円08銭
増減額（B－A）	△4,000	△1,050	△900	△550	
増減率（％）	△6.3	△53.8	△47.4	△44.0	
（ご参考）前期実績 （2022年3月期）	66,965	2,593	2,607	1,679	806円45銭

(2) 個別

単位：百万円

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	36,000	1,000	730	350円43銭
今回修正予想（B）	36,000	750	600	287円21銭
増減額（B－A）	－	△250	△130	
増減率（％）	－	△25.0	△17.8	
（ご参考）前期実績 （2022年3月期）	41,487	1,503	1,034	496円69銭

3. 修正の理由

2023年3月期第2四半期 個別

当第2四半期の完成工事高は年度当初の予想値17,000百万円に対し、3,587百万円減少して13,412百万円となりました。主な原因は複数工事の工期延伸によるもので、その影響額は当初業績予想値に対し1,565百万円の減少と試算しております。また、当第2四半期の受注高は20,926百万円となり前年同期に比べ8,107百万円増加しておりますが、受注時期が当第2四半期後半に偏り、これら受注工事の業績への影響は第3四半期以降となってまいります。これによる当第2四半期の完成工事高への影響額は1,814百万円の減少と試算しております。

予想値に対して完成工事高が大きく減少したことに伴い、完成工事利益及び営業利益も減少することとなり、当第2四半期の経常利益は予想値500百万円に比べ354百万円減少し、145百万円となりました。また、当期利益は予想値360百万円に比べ204百万円減少し、155百万円となりました。

2023年3月期第2四半期 連結

当第2四半期連結累計期間の売上高は、当社の完成工事高が予想値に比べ減少したことを主な原因として、25,286百万円（予想値に比べ4,713百万円減）となりました。この結果、売上総利益は1,815百万円となり、販売費および一般管理費1,961百万円を賄えず、146百万円の営業損失となりました。また、経常損失は80百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は153百万円となりました。

2023年3月期通期 個別

2023年3月期通期の売上高は、当初発表予想通りの見通しです。

一方、利益面では原材料価格の高騰、労務費の上昇等により若干下がる見通しであり、経常利益は年度当初の予想値1,000百万円に対し250百万円減少し750百万円、当期純利益は130百万円減少し600百万円と予想しております。

2023年3月期通期 連結

2023年3月期通期の個別業績予想が上記のとおりとなったこと及び一部の連結子会社の業績が減収を見込んでいることを主な原因として、売上高は当初業績予想に対して4,000百万円減少の60,000百万円と予想しております。また、これにより営業利益は当初予想値から1,050百万円減少の900百万円、経常利益は900百万円減少の1,000百万円、親会社株式に帰属する当期純利益は、550百万円減少の700百万円と予想しております。

以 上